

はじめに



近年、少子高齢化が進む中、こども・若者を権利の主体として尊重し、その声を政策に反映させる「こどもまんなか社会」の実現が求められています。国においても、妊娠期から子育て期、そして若者期に至るまで切れ目のない支援の充実が進められており、こども施策の重要性は一層高まっています。

本市におきましても、これまで「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育・保育の充実や子育て支援体制の強化に取り組んでまいりました。こうした取組を踏まえ、こども・若者一人ひとりが大切にされ、安心して成長し、未来を描くことができるまちを目指し、「新居浜市こども計画」を策定いたしました。

本計画では、「こどもの笑顔と権利をまもり、みんなで育ちあう、あかがねのまちにいはま」を基本理念に掲げています。子育て支援の充実に加え、若者の自立や社会参加、安心して過ごせる居場所づくりなど、ライフステージに応じた支援を総合的に進めてまいります。

妊娠期から若者期まで切れ目なく支え、あらゆる子育て世代の悩みや不安に寄り添うことは、本市が大切にしていく姿勢です。その積み重ねが、家族にやさしい、いわば“ファミリーフレンドリー”なまちの実現につながるものと考えております。本計画は、その具体的な道筋を示すものです。

今後も、国や県、関係機関と連携しながら、地域全体でこども・若者を支える温かいまちづくりを着実に進めてまいります。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、ご尽力いただきました新居浜市こども・子育て会議委員の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等を通じて貴重なご意見をお寄せいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

令和8年3月

新居浜市長 古川 拓哉